

副専攻

●副専攻手続き

<登録手続き>

副専攻の履修を希望する場合は、Sophie掲示の日程に従い、4月オリエンテーション期間中に開催のガイダンスへ出席し、手続きを行ってください。定員を上回る履修希望者があった場合は、選抜を行うことがあります。副専攻の登録手続き完了後、副専攻別ガイダンスがあります。

すでに副専攻を履修している場合、他の副専攻を履修したり、副専攻を変更することはできません。

<履修中止手続き>

副専攻の履修を取りやめる場合は、届出が必要です。期日までに教務課に申し出て、履修中止の手続きを行ってください。手続きの日程は別途Sophieでお知らせします。履修中止の手続き後に履修を再開したり、新たな副専攻を登録することはできません。

●副専攻の種類

種類	副専攻	新規募集定員枠	履修開始学年	
学科が開設する副専攻	英語英文学副専攻 英語学・英語教育学分野	6名	2年次	
	英米文学分野	8名		
	メディア・コミュニケーション分野	6名		
		日本語日本文学副専攻	なし	2年次または3年次
		史学副専攻 日本史コース 世界史コース	なし なし	2年次
		人間関係副専攻	なし	2年次
		国際交流副専攻	なし	2年次または3年次
		哲学副専攻	なし	2年次または3年次
学科横断的に開設される副専攻	教育学副専攻	なし	2年次または3年次	
	心理学副専攻	なし	2年次	
	総合リベラル・アーツ副専攻	なし	2年次*または3年次	
	グローバル共生副専攻	なし	2年次または3年次	

※総合リベラル・アーツ副専攻のみ、2年次後期からも登録手続きを行うことができます。手続きの日程は別途Sophieでお知らせします。

●副専攻の修了要件等

- ・修了要件は各副専攻によって異なります。各副専攻の履修要項を確認してください。
- ・副専攻開始以前に修得した単位を副専攻の修了要件に算入できるかどうかについては、各副専攻の履修要項の「履修開始前の単位」で確認してください。
- ・副専攻の修了要件に含めることができる単位は、「関連分野」の科目に限ります。
- ・総合リベラル・アーツ副専攻について、課題に関係する科目のうち所属学科で開講されている科目は「専攻分野」となりますが、4単位まで副専攻の修了要件に含めることができます。
- ・履修中の副専攻は、成績通知書および和文の成績証明書に記載されます。副専攻を修了した場合、卒業時に副専攻修了証が授与され、卒業後は和文の成績証明書に修了した副専攻が記載されます。
- ・副専攻の修了は、卒業することが前提となります。

心理学副専攻

●修了要件

心理学副専攻の修了要件は次のとおりです。

次の必修科目を修得していること

「心理学概論」(4単位) 廃止(～2018)

「心理学概論」(2単位)

「臨床心理学概論」(2単位)

心理学副専攻の指定科目の中から必修科目を含んで、関連分野の単位として、合計20単位以上修得していること

●副専攻指定科目

心理学副専攻の指定科目は、シラバスおよび授業時間表の副専攻欄に「L1」と記載された科目です。指定科目は開講年度ごとに見直されます。

なお、心理学科開講科目のうち、**指定科目の対象外**となる科目は、次のとおりです。

◎開講されたすべての年度において対象外の科目

計量心理学特講1、計量心理学特講2、計量心理学特講3、計量心理学特講4、計量心理学特講5、心理統計法I、心理統計法II、心理学統計法、心理学演習1、心理学演習2、心理学実験1、心理学実験演習1、心理学実験演習2、心理学実験演習3、基礎情報処理技法、心理学研究法1、心理学研究法2、心理学研究法、3年心理学演習、実験心理学演習、発達心理学演習、発達臨床心理学演習

●履修開始前の単位

副専攻履修開始前に履修した心理学副専攻の指定科目の修得単位は、副専攻の単位に算入できます。

●履修上の注意

- (1) 2年次からの3年間で修了認定に必要な20単位を修得できなかった場合、副専攻の履修を継続することはできません(副専攻履修中止の扱いとなります)。
- (2) 必修の「心理学概論」「臨床心理学概論」の標準履修年次は2年次です。
- (3) 「心理学概論」(4単位、～2018年度)を未修得の場合は、「心理学概論」(2単位)と「臨床心理学概論」(2単位)を修得すること。
- (4) 平成26(2014)年度以降入学者のうち、教育学専攻生と初等教育学専攻生のみ、履修の際、以下に注意すること。
・教育学専攻生は「発達心理学2」を履修しても、副専攻の修了要件に含めることはできません。
・初等教育学専攻生は「発達心理学1」を履修しても、副専攻の修了要件に含めることはできません。

総合リベラル・アーツ副専攻

●履修の目的

本副専攻は、学生自身が課題を設定し、それに関係する授業科目を選んで課題について考え、レポートを作成することをおして、研究対象への幅広く多様なアプローチの方法を身につけ、また、現代社会の複雑かつ多様な問題について考える力を伸ばすことを目指しています。

●修了要件

総合リベラル・アーツ副専攻の修了要件は、次のとおりです。

課題に関する科目を16単位以上修得していること

ただし、主専攻(自らが所属する学科)が開講する科目については、4単位まで副専攻修了要件単位に算入することができます。

「副専攻修了レポート」を修得していること(2単位)

●副専攻指定科目

特定の科目は指定していません。自分のテーマと関心に合わせて、科目を選択して履修してください。

なお、カテゴリとその課題例を次ページにあげますので履修計画を立てる際の参考にしてください。

●履修開始前の単位

副専攻履修開始前に履修した当該副専攻に関する授業科目の修得単位は、副専攻の単位に算入できます。

●履修上の注意

- (1) 履修計画および副専攻修了レポートの準備のために、本副専攻生はe-Portfolioを利用します。利用方法等については総合リベラル・アーツ副専攻ガイダンス(日程はSophieで掲示予定)にてお知らせします。
- (2) 履修計画の作成、副専攻修了レポートの執筆等に関する相談・指導については、本副専攻担当教員に随時申し出てください。担当教員名は別途Sophieで掲示します。
- (3) 副専攻修了レポートの提出を希望する場合は、提出しようとする学期のはじめに、「副専攻修了レポート」を履修登録することが必要です。
- (4) 副専攻修了レポートは、設定した研究課題のために履修した授業の概要と、課題についての考察を含め、3年次後期・4年次前期・後期のいずれかの所定レポート提出期間中に教務課窓口へ提出してください。
- (5) 修了レポートは6000字程度とし、授業の概要に2000～3000字、研究課題についての論述に3000～4000字をあてること。なお、授業概要に挙げた科目の合計単位数(修得見込み含む)が16単位を満たしていない場合は、不合格となります。

■カテゴリーとその課題例

推奨授業科目リストは、2018年度開講科目が記載されていますので参考してください。

カテゴリー A : 「世界のなかで地域を見つめる」……………

【課題例】

東アジアの社会と文化を学ぶ—中国と韓国との多角的な比較

推奨授業科目	単位	開講学科
中国文学概論 I	2	日本語日本文学
中国文学概論 II	2	日本語日本文学
日本文化研究 III ～中国語・中国文化からみた日本語・日本文化(その一)～	2	日本語日本文学
中国近代史	4	史学
朝鮮近現代史	4	史学
世界史文献講読 II - 2 ～史料で学ぶ明朝と朝鮮の関係～	2	史学
比較文化学特講 2 ～現代韓国の社会文化～	2	人間関係
中国事情 (2) ～「中華人民共和国の歴史と現在」～	2	国際交流
東アジアの社会と文化 (2) ～食からみる中華社会・文化～	2	国際交流

【課題例】

ヨーロッパの社会と文化を学ぶ「ヨーロッパ」とは何かを考える

推奨授業科目	単位	開講学科
キリスト教学 II - 6 ～ヨーロッパのキリスト教文化～	4	全学共通
英文学史概説 2 ～ An Outline of English Literature ～	2	英語英文学
ヨーロッパ中世史 II ～イタリア中・近世の歴史と文化・思想：特にヨーロッパ・ルネサンスと非ヨーロッパ地域との関連の相のもとで～	4	史学
ヨーロッパ近代史 I ～歴史に名を残しそこねた男 Sir Benjamin Rudyardとその時代 (2) ～	4	史学
ヨーロッパ近代史 II ～スペイン近現代社会の諸問題～	4	史学
ヨーロッパ現代史 I ～映画で学ぶ近現代の世界～	4	史学
日仏文化交流論 (1) ～ポップカルチャーの誘惑～	2	国際交流
フランスの社会と文化 (1) ～印象派の革新～	2	国際交流
フランスの社会と文化 (2) ～フランス人のナショナル・アイデンティティ～	2	国際交流
フランス事情 (1) ～現代フランスの文学と社会～	2	国際交流
ドイツ事情 (1) ～中欧文化論～	2	国際交流
西洋教育史 2	2	教育学

カテゴリー B : 「多様な文化を比較する」……………

【課題例】

世界の言語を比較する

推奨授業科目	単位	開講学科
第二外国語 (オラル)	各2	全学共通
アラビア語の世界	4	総合現代教養
英語学概論 ～英語学入門～	4	英語英文学
英語史 ～現代英語の「不思議」な現象を歴史的に説明する～	4	英語英文学
日本語学概論 I ～現代の日本語 (語彙・音声) ～	2	日本語日本文学
日本語史概説 I ～日本語の語彙・文字・音声の歴史～	2	日本語日本文学
言語学概論 I ～言語と心理～	2	日本語日本文学
対照言語学 I	2	日本語日本文学
中国文学概論 I	2	日本語日本文学
ギリシア語 I	4	哲学
ラテン語 I ～ラテン語初等文法～	4	哲学

【課題例】

世界の近・現代文学を比較する

推奨授業科目	単位	開講学科
キリスト教学 II - 13 ～日本の近・現代文学とキリスト教～	4	全学共通
ジェンダー学 2 - 2 ～ジェンダーで読むシェイクスピア～	2	総合現代教養
英文学史概説 1 ～ A History of English Literature ～	2	英語英文学
米文学史概説 1 ～ 18世紀から20世紀初頭まで～	2	英語英文学
米文学史概説 2 ～ 20世紀初頭から21世紀まで～	2	英語英文学
近代文学の世界 ～読む愉しみと出会おう～	2	日本語日本文学
日本文学史 V	2	日本語日本文学
日本文学史 VI ～近代文学は「文学」であり続けたのか?～	2	日本語日本文学
フランスの社会と文化 (1) ～印象派の革新～	2	国際交流

カテゴリーC：「持続可能な社会を構築する」……………

【課題例】

気候変動と貧困問題

推奨授業科目	単位	開講学科
環境と経済 ～『モモ』の環境経済学～	2	総合現代教養
聖心スピリットと共生 ～聖心の伝統と現代における意義～	2	総合現代教養
ボランティア研究概論1 ～社会的課題とボランティア～	2	総合現代教養
グローバル共生研究Ⅳ ～地球環境問題（気候変動～生物多 様性保全の問題）～	2	総合現代教養
グローバル共生研究Ⅴ ～災害と人間～3.11以後の社会と文化～	2	総合現代教養
比較文化学特講7 ～社会開発から考える国際開発論～	2	人間関係
自然地理学1 ～地図と地形の基礎知識を学ぶ～	2	人間関係

【課題例】

国際協力とボランティア

推奨授業科目	単位	開講学科
ボランティア研究概論1 ～社会的課題とボランティア～	2	総合現代教養
グローバル共生研究Ⅰ ～「平和をつくる」取り組みと開発援助～	2	総合現代教養
グローバル共生研究Ⅱ ～[寄附講座]日本赤十字社 赤十字に よるグローバルな人道支援の状況～	2	総合現代教養
比較文化学1 ～NGO、NPO、ボランティア、そし て国際開発学・国際協力論とアジアを 学ぶ～	2	人間関係
比較文化学特講1 ～参加型学習を通じて考える南アジ ア社会と私たちの関わり～	2	人間関係
比較文化学特講5 ～難民・非正規移民をめぐる社会と 文化～	2	人間関係
比較文化学特講7 ～社会開発から考える国際開発論～	2	人間関係
人間学習8 ～グローバル化時代における国際理 解教育～	2	教育学

カテゴリーD：「生涯を通じたキャリアを形作る」……………

【課題例】

女性にとっての仕事と家庭

推奨授業科目	単位	開講学科
女性とキャリア形成	2	総合現代教養
キャリアデザイン入門 ～アクティブラーニングで学ぶ女性 のキャリア～	2	総合現代教養
ジェンダー学1	2	総合現代教養
ジェンダー学2-2 ～ジェンダーで読むシェイクスピア～	2	総合現代教養
ジェンダー学3-1 ～ライフコースとジェンダー～	2	総合現代教養
家族社会学2	2	人間関係
職業社会学1	2	人間関係
職業社会学2	2	人間関係

【課題例】

ジェンダー視点で見る妊娠・出産・育児

推奨授業科目	単位	開講学科
キャリアデザイン入門 ～アクティブラーニングで学ぶ女性 のキャリア～	2	総合現代教養
生活と法律 ～女性のライフステージと法～	2	総合現代教養
心理学入門	2	総合現代教養
家族社会学1	2	人間関係
人間関係特講1 ～性と生殖に関する今日的課題～	2	人間関係
倫理学概論Ⅱ ～現代社会における倫理的問い～	2	哲学
発達心理学特講6	2	心理学
発達心理学特講9 ～青年期の親子関係～	2	心理学